

第179回 秋季大祭

# 日本の未来を自分たちの手で切り拓く

10月9日、10日の両日、第179回秋季大祭が御霊地にて挙行政され、全国より会員代表が参集した。コロナ禍で行事の参加を自粛する会員も多かったが、緊急事態宣言が解除されて御霊地での再会を喜び合う会員の姿が見られた。



全国の会員が見守る中、力強く式辞を述べる岡野理事長



一切の命の躍動を祈念し、萬霊大供養を厳修



岡野理事長が導師となり営まれた萬部御法楽(8日)



全国会員代表が合掌し、真心の祈りを捧げる



感染症対策が徹底され、検温、消毒を行う参加者



まごころ募金を呼びかけるマンナー・スタディツアーのメンバーたち

10月8日午前9時30分より、太神社殿前にて岡野英夫理事長はじめ本部常任理事以上の役員が参列する中、大祭奉告祭が執り行われた。太神様前の儀では、祝詞を奏上した後、岡野理事長、渡辺孝彦顧問、西村晴雄常任理事が玉串を奉奠し終了となった。続いて、五輪宝塔前の儀では、岡野理事長が敬白の文を奏上し、御霊地各所を参拝、大祭が無事に開催できることを奉告した。

午前10時45分から五智如来堂にて、岡野理事長が導師となり萬部御法楽が厳肅な中、執り行われた。

9日大祭式典、10日本祭式典の両日共、開式前の同じ時間帯に清めの雨が降り注ぐ中での開催となった。

午前9時30分からは、お山内の3ヵ所に設置された受付で検温、手指の消毒、

参加のリボン等の確認が行われた。会場は、前回同様、ソーシャルディスタンスのために間隔を空けて椅子席が設けられ、今回も新型コロナウイルス感染症対策が整えられた。

大祭は両日ともに正午に開式。今大祭で認証された設立支部1支部、継承支部6支部が紹介され、国歌、大祭の歌斉唱、拝礼行事、み声拝聴の後、萬霊大供養を厳修し、般若心経3巻と共に万物万霊に感謝の祈りを捧げた。

岡野理事長は式辞で、「いまは非常事態の時、まずは行動を起こすことが重要。日本の未来を自分たちの手で切り拓く情熱と熱誠をもって今こそ立ち上がり、勇往邁進していかねばならない。解脱は修験実証である。何事も修験実証、実践躬行でなければ空言に期すと金剛さまの

熱き想いを胸に、全身全霊で報恩行に生きて参りましょう」と述べた。

来賓祝辞では、三宮幸雄北本市長からのメッセージが代読され、次いで京都・御寺泉涌寺の上村貞郎長老猊下から「来年の大祭が、本来のように大勢の会員の方々のご参加にて、にぎにぎしい大祭となることと長老として参加させていただけることを切に希望いたします」とのメッセージが代読され、最後に御寺泉涌寺の長老に再任された報告とご挨拶のお言葉で締めくくられた。

また、今回も青年部OBの奉仕により、参加できなかった会員が自宅から一緒に祈りを捧げられるように、インターネットを通じて大祭の様子がライブ配信された。なお、ライブ配信された動画は、解脱会ホームページから視聴できる。

新支部長研修 支部認証式

# 法の親として会員の幸せを願う一念で



支部長として実務的な指導を受ける（新支部長研修）



支部認証式にて恭しく辞令を受ける新支部長

9月25日、令和3年秋季新支部長研修が御霊地・解脱研修センター4階にて開催され、支部継承者やその配偶者らが参加した。

午前10時より開式。初めに「支部長の役目・心得」と題して講話に立った岡

野英夫理事長は、「会員が神より授かった天命を果たしていけるよう、一人ひとりを活かしていくことが支部長の役目」と伝えと共に、「支部長として、金剛さまからお預かりした会員を幸せに導くため、どうかお使いくださいとの一念を

持つこと。金剛さまは必ず何かを授けてくださる」と鼓舞し、コロナ禍という厳しい時代の中、支部長となる方々の活躍に大いに期待を寄せた。

続いて宮坂保徳教務局長が「支部運営と活動」について説明。「永続的・安定的な支部運営のためには、支部長だけでなく、会員皆でより良い支部づくりにあたること」と述べ、支部幹事育成の重要性が伝えられた。その後、「諸札の扱い方と心得」について実習し、「支部の実務」について説明を受け、午後2時半、終礼行事をもって研修を修了した。

続いて会場をお浄めの間へ移し、支部認証式が行われた。秋季大祭にて新たに名誉支部長並びに支部長となる方々に御神前にて岡野理事長より辞令を手渡され、新たな門出を祝して激励が贈られた＝写真右。

## 秋季大祭にて認証された名誉支部長・新支部長

名誉支部長

支部設立支部長

支部継承支部長



北陸・金沢長田  
中川 憲子



滋賀・滋賀びわ  
大塚 悟



九州・宮崎中央  
杉崎 宗人



東北第2・宮城松山  
土屋 瑞俊



東京第3・杉並  
安本 正己



北陸・金沢長田  
中川 徹也



滋賀・滋賀びわ  
北野 正彦



四国東・徳島亀王津  
橋本 政憲



九州・福岡宇美  
永尾 京子

## 東日本大震災10周年慰霊供養 2021

# 皆で支え合い、生きることへの感謝をもって



地元教会会員が企画・準備をして開催された供養祭は無事、成功に終わった

東日本大震災から10年の節目を迎え、東北第2教区では、9月23日に宮城県石巻市長浜緑地公園にて、東日本大震災10周年慰霊供養2021を行った。

当日は、本部より岡野英夫理事長はじめ役員が参加。地元会員以外にも、緊急事態宣言下であることを留意しながら、北海道・東北第1・埼玉・新潟・群馬の各教区から参加があり、総勢90名が集った。

12時30分より開始され、国歌斉唱、

拝礼行事、合澤裕行東北第2教区長による回向文奏上、長浜海岸での真心からの天茶の撒き供養10巻を厳修した。

続いて、岡野理事長は「人間は自然災害に対して非常に無力で、大災害を止めることはできない。だからこそ、経験した貴重な震災の記憶を風化させないように、私たちが後世へ繋いでいかなければなりません。被災地が新たな街として復興し、雄々して立ち上がる日が1日も早く訪れますように」と挨拶を述べた。ま



天茶の撒き供養を行う岡野理事長



参加者全員が一丸となり心経を唱える

た、合澤教区長からは「世界は一人の心から平和は一人の祈りから実践し、参加者の皆さまと真心の供養を捧げられたことに感謝でいっぱいです」と御礼の挨拶が述べられ、すべての行事が午後1時30分に終了となった。

(解脱誌11月号に関連記事)



第169回 海老名萬霊魂祭塔秋季大祭

# コロナ禍にも真心を込めて開催

第169回海老名萬霊魂祭塔秋季大祭が9月23日、解脱会本部主催、神奈川県教区主管の下、神奈川県・海老名萬霊魂祭塔前にて行われ、真夏を思わせる汗ばむ日差しの中で萬霊に感謝の誠を捧げた。

当日の朝、今回も感染防止のため神奈

川教区役員らに限定された参加者を前に福井恒明教区長が開口一番、「参列者は少なくとも、真心を捧げて参りましょう」との掛け声で準備を始め、特別に設けられた祭壇には、お神酒や天茶をはじめとするお供物が整然と並んだ。



式典は、福井教区長の諷誦文奏上の後、本多伸一担任部長の先達で心をついに心経を唱え、真心から天茶供養を捧げた。

長浜神前支部 設立60周年記念感謝会

# 会員が思いを一つに手作りで祝い合う

長浜神前支部では9月19日、支部道場にて太田豊地滋賀教区長出講のもと支部設立60周年記念感謝会を開催した。

当支部は、昭和36年に今庄弘氏が初代支部長に就任、平成6年に今庄康裕氏が二代目支部長を、同30年に今庄和子

氏が三代目支部長を継承し現在に至る。

第一部では、支部会員先亡者精霊供養の後、今庄支部長が挨拶に立ち、節目を共に迎えられた感謝と、「支部は家族」との思いの下、分かち合い喜び合える支部であり続けたいと、決意を述べた。



第二部では、各部が活動状況を発表。特に次代を担う、こども会、青年部、若手女性会「和のWa(ののわ)」の



活発な活動内容は更なる支部発展を期待させた=写真右上。

最後に、年頭目標に向け努力精進した会員へ支部長より労いの言葉と記念品が贈られ、続いて会員から支部長夫妻へ感謝の花束が手渡された後、全員で万歳を三唱し、今後の発展と躍進を誓い合った。

この日、数か月前から幹事と会員によって支部の各所が綺麗に整えられ、当日は心の籠った会員手作りの装飾が道場を彩った。コロナ禍の中で、支部会員が丸となり更に支部を盛り上げていこうとの意志を共有する感謝会となった。

解脱金剛奉賛会 設立50年企画 奉賛会体験



## 感謝のバトンを子孫へつなげたい

茶志内支部 立川 由美子

私たち夫婦は、夫の両親のお導きで解脱会にご縁を頂きました。

その頃は解脱の教えのことは全く分からず、両親が報恩日感謝日へ来る時に孫に合わせるために札幌道場へ足を運んでいました。その後も家族に困りごとがあった時に支部長ご夫妻や出講の先生からお勉強を頂き、それが解決すると、自分の生活を優先させて家の用事がない時に道場へ行くという身勝手な学び方でした。こんな私でも支部長ご夫妻や支部の皆さんは、見離すことなく相談に乗ってくださいました。

そのお蔭もあり、遠いことを理由にそれまでは行けなかった支部感謝会や御五法修業に出させていただくようになりました。そして当時の渡辺将人支部長が札幌道場の主任として奉職されていた時、

まかな 賄いとして道場での仕事を私に手伝ってもらいたいとお話を頂いたのです。

学びも浅く自信がなかった私は一度は断りましたが、支部の皆さんの後押しもあり、自分がお役に立てるならとの思いでお使いいただくことにしたのです。

札幌道場では、出講の先生の講話や会員さんの体験を聴かせていただき、また道場でお使いいただく中で少しずつ学びを深めることができ、み教えがいかに大切なのかを実感させてもらえるようになったのです。そして今まで家族に起こった数々の大難を小難に、小難を無難にさせていただいたことに気づき、感謝の気持ちでいっぱいになりました。この思いを金剛さまにお返しできないかと考え、奉賛会への入会を思い立ったのです。

しかし、私が勝手に入会する訳にはいきません。夫に理解してもらわなければならないと思いつつ、誰もが入っている訳ではない奉賛

会のことを分かってもらえないのではとの不安で切り出せずにいましたが、思い切って夫に相談すると心配は杞憂に終わり、快く入会してくれたのです。

すると翌年、夫の昇進が決まり、次の年に、道場でお使いいただき多くの学びを頂ける感謝の気持ちで私も入会すると、その翌年に再び夫が昇進したのです。

このお運びは奉賛会にご縁を頂いたお蔭と気づき、有り難く身の引き締まる思いです。今回、法縁を頂いてからの幸せを振り返り、家族が平穏に暮らしているのはみ教えのお蔭と改めて気づき、感謝の気持ちでいっぱいです。

解脱の教えの大切さを子供たちにも実感してもらえるような夫婦となるためにこれからも更に努力精進して、この奉賛会への感謝のバトン子供たちへ、その先の子孫へとつないでいけるように頑張ります。

## 読書のススメ

新書判 『金剛さまの思い出』  
第1巻～第7巻（以下続刊）



各巻 定価 1,000円（税込）

コロナ禍の今こそ、金剛さまに学ぼう——。

先人先覚者たちが金剛さまと過ごした「思い出」をまとめた書籍『金剛さまの思い出』『続・金剛さまの思い出』『解脱金剛尊者の思い出』に、さらに単行本未収録のエピソードを加えて再編集したシリーズ。

ページをめくるたび、会員の幸せを願われた金剛さまの温かくも熱意あるご指導が、時を超えてよみがえります。

読書の秋、ぜひお買い求めください。

ご購入・お問い合わせ：解脱会事業部

## 天茶パウダーのご案内



< 発売は来年以降となります >

秋季大祭のお供物として配布された粉末タイプの天茶は、長野県黒姫の山麓で作られた上質な天茶の茶葉を丸ごと粉末にしたものです。乾燥させた天茶の茶葉を丁寧に粉碎加工し、なめらかな粉末状にしています。お湯にも水にも溶けてすぐにお召し上がりいただけます。飲料用におすすめの目安は、1L（リットル）につき小さじ4分の1程度。最初はごく微量からお試しの上、お好みで調整してください。ご意見、ご感想をお待ちしております。

お問い合わせ：解脱会事業部 TEL：03-3353-2191  
Eメール：soumubu@gedatsu.or.jp

## 解脱金剛73年祭動画配信

●日時：11月4日（木）正午 ●場所：京都・御寺泉涌寺



御年祭の様子を編集した動画を後日、HPにて配信いたします。配信する際は、公式LINEにてお知らせいたします。

— 式次第 —

- 10：30 奉告祭（常任理事以上参列）
- 12：00 第一部法要（舍利殿）  
解脱金剛法要  
斎祀精霊法要  
式辞、献納の儀、挨拶
- 13：40 第二部奉斎之儀（金剛宝塔前）  
精霊安置、勤行
- 14：00 終了 後自由参拝

解脱会ホームページ URL：https://www.gedatsukai.org/

## 第141回解脱金剛御生誕祭について

新型コロナウイルス感染防止に配慮し、下記の通り開催いたします。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- 日 時：11月28日（日）正午開式
- 参加人数：制限は設けません。
- 受付：お山内に設置。検温、手指の消毒等を行います。
- 会場：椅子席（座席は自由）。
- 宿泊及び食事：宿泊及び食事の申込み受付は行いません。うどんの販売や飲食を伴う接待はありません。
- 駐車場：バス⇒第3駐車場／自家用車⇒第1・2・4駐車場・東駐車場（旧研修会館）  
※上記以外の場所及び路上駐車はお止めください。
- ライブ配信：本会ホームページ会員専用ページより視聴できます。
- 献灯の申し込み：支部を通してお申し込みください。

献灯感謝 1口：500円（お一人何口でもお申し込みできます）

お問い合わせ：解脱会総務部 TEL:03-3353-2191



昨年の式典の様子